

XP Pro 32bit から Win.7 Pro 32bit へ (ci)

ここに至るまでに試行作業をふたつやってきましたので（別記事参照）、比較的この作業はスナリ進んだわけですが、幾つか改めて気付いたことがありました。

1 まずフォルダのアクセス権の設定です。

Vostro 1200 の場合はうっかり「ホームネットワーク」に接続することにしてしまいました。

というのはインストール中の OS から「(メイン PC の) Windows 7 PC がホームネットワークに入っているよ」というメッセージが出たからです。

しかし結局ホームネットワークのパスワードを入れても「無効」扱い。それどころかその後のアクセス権設定に多大な悪影響がありました。

（これに懲りてメイン PC はホームネットワークから離脱させました）

つまり「ホームネットワークに接続する」という設定をすると、おそらくアクセス権について OS 側があれこれ勝手に設定してしまうのだと思われます。

やはり手動でアクセス権を設定することが望ましい。この方が物事がシンプルになります。

また Vista 化した 220s の場合は、アクセス権の状態が把握出来ず、恐ろしく面倒な設定作業になりそうだったので、OS(C)のレベルでいっぺんにアクセス権の設定をしようとしたのですが、これはうまくいきません。やはり OS(C)直下のフォルダのレベルで小まめにアクセス権を設定すべきです（これは 220s の記事で書いたとおり）。今回気付いた事ですが、アクセス権の設定をする前にフォルダのプロパティの共有タブでこのフォルダが共有されているかどうかをまず調べた方がいい。

もし誰とも共有されていなければ、Everyone、Administrators、PC の所有者（PC の名前）と共有関係を設定してからアクセス権の設定をすべきです。

物事の進め方の順序ということになります。

2 次は 32bitPC であるがゆえのエピソード

- (1) この PC では Logicool の MX Revolution というマウスを使っていましたが、これを動かすためのドライバ・ユーティリティが Set Point 3.0 のままではうまく動いてくれません。互換モードだとしょっちゅう警告メッセージが出るので煩わしい。ネット上で Windows 7 Pro 32bit 対応の Set Point を何とか探し出して、このトラブルに対処することが出来ました。

- (2) 同じようなことにはなりますが、デフラグソフトも PC システムが 32bit か 64bit かで

使えるかどうかが決まります。

例えば 64bit システムでは 32bit 用の Ultra Defrag ではなく Puran Defrag を使うというようなことになります。

(3) これは運が良かったということかもしれませんが：

XP Pro 32bit のときには使えていた Audiostyle 社（韓国）の CARAT-PERIDOT という USB 接続の小型 DAC を Win7 が認識してくれなくなりました。

この製品は 9 年前に導入したのですが、説明文には Vista まで対応と書かれています。やはりダメかと諦めかけましたが、同じ韓国製の Dr.DAC2 の取説に「本機は USB で PC に接続すると自動認識されるが、ダメな場合は使用する USB 端子を変えてみてほしい」という趣旨の文章がありました。

それでは、というわけで USB 端子を変更したところプラグ&プレイの認識プロセスが始まったのです。本当に助かりました。

以上に記載した事以外、特筆すべき出来事はありませんでした。

Win.7 の場合、膨大な更新プログラムをインストールしなければなりません、これは仕方がないことです。なにしろ IE11 が使えるということのメリットは計り知れません。

以上